

三四二九番

遠江とほつあふみ 引佐細江いなさほそえの 水脈みづをつくし 我あれを頼たのめて

あさましものを

三四三〇番

斯太しだの浦うらを 朝漕あさこぐ舟ふねは よしなしに 漕こぐらめ
かもよ よしこさるらめ

三四三一番

足柄あしがりの 安伎奈あきなの山やまに 引ひこ舟ふねの 後引しりひかしもよ
ここば児こがたに

三四三二番

足柄あしがらの 吾わを可か鶏山けやまの かづの木きの 我わをかづさ
ねも かづさかずとも

三四三三番

薪伐たきぎこる 鎌倉山かまくらやまの 木垂こだる木きを まつと汝なが言いは
ば 恋こひつつやあらむ